

■郡内ブロック予選 Aパート代表決定戦

会場：都留興譲館高校体育館

日時：2019年5月12日（日）12時45分～13時25分

主審：勝俣佳美 副審：志村栄子 記録：宮下はま美

対戦成績：都留愛球 2 - 0 西クラブ

戦評：各種大会で力をつけ勢いがある都留愛球と新メンバーになって初めて出場した西クラブの戦いとなった。都留愛球13番宮下のサービスエースで試合がスタートした。西クラブは緊張感からかミスも見られ4点先取された。西クラブは5番加賀美にボールを集め力強い攻撃で点を取り、4対4と同点とした。その後も西クラブの5番加賀美の攻撃と都留愛球13番宮下のスピード感ある攻撃で1点を争うゲームとなった。都留愛球の粘りのあるレシーブで西クラブは点を取る事が出来ず21対17で都留愛球が1セット先取した。2セット目も西クラブは5番加賀美の攻撃でリードしたが、都留愛球の粘りあるレシーブでボールを落とすことなく攻撃につなげていった。波に乗った都留愛球は13番宮下、15番剣持のパワーあるスパイク攻撃で点を取り、21対14と2セット目も都留愛球が価値、中央大会の切符を手にした。（記載者 渡辺浩美）

■郡内ブロック予選 Bパート代表決定戦

会場：都留興譲館高校体育館

日時：2019年5月12日（日）12時15分～12時50分

主審：小林ほみえ 副審：石野佳子 記録：渡辺舞

対戦成績：すいせんクラブ 2 - 0 大目クラブ

戦評：郡内ブロックBパートの代表決定戦はすいせんクラブと大目クラブの対戦となった。第1セットの立ち上がり、すいせんクラブレフトエースの遠山と大目クラブライトエース柳沢のパワーのある攻撃がそれぞれ決まり得点。その後も両チームライト攻撃が有効的に決まり盛り上がりを見せる中、後衛上杉のバックアタックを含め攻撃数の多いすいせんクラブは徐々に点差を広げ、宮下のサイドラインを狙ったサーブで大目クラブの守りを乱すと一気に勢いに乗り10点の差をつけた。何とか追いつきたい大目クラブも粘り見せるが、肝心なところでミスが続き、すいせんクラブが勢いそのまま21 - 8で第1セットを先取した。第2セット、気持ちを切りかえ挑む大目クラブだが、勢いに乗ったすいせんクラブレフト遠山の活躍で6得点をあげ7 - 4とした。お互い粘り強くボールを繋ぎ長いラリーが続く中、返球ミスで9 - 4となったところで大目クラブがたまたまタイムアウトを取った。タイムあけ、大目クラブが1点を取り返すもすいせんクラブは山崎の緩急をつけたサーブで守りの乱れた大目クラブに、ライト渡辺、後衛上杉、レフト遠山のアタッカー陣やセッター相原の攻撃で一気にたたみかけ19 - 5と大差をつけた。後かない大目クラブは連続3得点と意地を見せるが、最夜はすいせんクラブ宮下のサービスエースで21 - 8とし、見事に中央大会への出場権を掴んだ。（記載者 小林ほみえ）

■峡中ブロック予選

会場：田富市民体育館

日時：2019年5月12日（日）12時52分～13時28分

主審：遠藤明子 副審：上田美和 記録：笹本明美

対戦成績：SFC 2-0 白根東

戦評：昨年と同じSFC 対 白根東の代表選定戦となった。第1セット連続サービスエースでリードを広げたSFC、中盤追いあげられたものの最大6点差あった得点差は縮まる事はなかった。前2試合いまいち調子が悪かったSFCの攻撃陣が徐々に調子を上げチームに活気が出てきた。第2セットは取って取られてのシーソーゲームが続いた。両チームとも力のあるエースが打つスパイクを飛び込んでのレシーブ。それを全員でつないでまた攻撃。長いラリーが続くようになった。攻撃が単調になるとブロックが決まりだす。第1セットとは対照的な試合展開に盛り上がる。流れを変えたのはSFCの堀の連続サービスエースだった。均衡していた試合が一気に動きはじめ、そのままSFCが白根東を振り切った。昨年は接戦の末、代表の座を逃してしまったが、今年は中央大会に進んだので、全国大会への切符を手にして欲しい。（記載者 有泉千織）

■峡東ブロック予選Aパート代表決定戦

会場：勝沼体育館

日時：2019年5月12日（日）10時00分～10時45分

主審：保坂知子 副審：星野美代子 記録：石原香織

対戦成績：石和北 2-0 奥野田A

戦評：昨年のブロック予選決定戦と同じ顔合わせとなった。石和西をストレートで破った石和北と奥野田Aの一戦、石和北はセッター中川良子から多彩な攻撃陣に振り分け、対する奥野田Aはチームの大里柱である雨宮千牧にレシーブから懸命にトスを上げる。序盤は1点ずつの取りあいでのラリーが続けられる。16対13と3点差のあいたところで奥野田Aが1回目のタイムアウト。速攻的那須美智子の攻撃力ブロックで止められてしまい、第1セットは21-17で石和北が先取する。第2セットも両者ゆずらず、1点ずつの攻防、奥野田Aは雨宮千牧にボールをつなげたい所だが、石和北の粘り強いレシーブからレフト、ライトセミの攻撃、11番酒井恵美のスパイクがアウトとなり15-13。終盤追いつき19-19となるが、最後は中川良子のサーブから崩しレフトのスパイクが決まり2年続けて代表の座を勝ちとった。（記載者 吉田仁美）

■峡東ブロック予選Bパート代表決定戦

会場：勝沼体育館

日時：2019年5月12日（日）10時01分～10時44分

主審：弦間千代美 副審：田辺純子 記録：玉川睦美

対戦成績：かのいわV C 2－0 石和富士見

戦評：峡東ブロック2代表の座をかけ、神金Aをストレートで破ったかのいわV Cと石和富士見の対戦となった。かのいわV Cはキャプテン川井知恵美のサーブから石和富士見のリズムを崩し得点を重ね、5－1とリードを広げる。追いつきたい石和富士見はレシーブからレフトエース手塚英理にボールをつなげ、手塚も懸命にスパイクを決め5－12となる。その後も差は縮まらず13－21でかのいわV Cが先取する。第2セットに入りかのいわV Cはバックセミ北澤空由美が拾って攻撃につなげ、川井知恵美、福島直香が決める。追いつきたい石和富士見も粘り9－13から、手塚英理のスパイクが決まり15点まで追い上げるが、あと1歩及ばず、21点がかのいわV Cに入り2セット先取、代表の座を勝ちとった。
(記載者 吉田仁美)

■峡北・甲斐ブロック予選代表決定戦

会場：敷島体育館

日時：2019年5月12日(日) 11時11分～12時19分

主審：吉村典子 副審：島津千代子 記録：稲葉玲

対戦成績：葦崎クラブ 2－1 敷島南

戦評：敷島南と葦崎クラブの対戦となった。敷島南はレフト滝口智子、センター植松千秋、ライト渡辺翠と多彩な攻撃に対し、葦崎クラブはレット橋本貴恵を中心にボールを集め、1セットがスタートした。序盤両チーム共にボールを繋げるが徐々に点差が開いてきた。中盤でタイム2回を使用した葦崎クラブだが、相手コートになかなかボールを落とすことが出来ないまま追いつけず、1セットは21対13で敷島南が先取した。2セット目に入り、葦崎クラブが序盤リードし、敷島南の小池唯のケガとサーブ順のミスなどでペースを掴んだ葦崎クラブが橋本貴恵の鋭い攻撃でリードを保ったまま2セットを取り返した。最終セットに入り、互いに一步も譲らない試合運びとなった。敷島南の長田祥代の好サーブでペースを掴んだ敷島南だが、葦崎クラブの橋本貴恵の緩急をつけた攻撃に追いつかれ、後半両チーム一進一退の攻撃が続いたが、最後は葦崎クラブのねばりのバレーが勝利逆転勝ちを納めた。(記載者 大輪年美)

■甲府ブロック予選代表決定戦

会場：甲府市立国母小学校体育館

日時：2019年5月12日(日) 10時10分～10時47分

主審：若松朝美 副審：雪丸幹子 記録：岩波政子

対戦成績：国母 2－0 中道北

戦評：第50回記念全国ママさんバレーボール大会甲府ブロック予選の代表決定戦は国母と中道北の対戦となった。常連チームの国母と新メンバーが入った中道北は1セット立ち上がり連続ポイントを重ねたが、国母がレシーブ陣の守りとアタッカー陣の攻撃により同

点に追いつき、接戦の末 21 - 17 で国母が先取した。2 セット目に入っても国母の勢いは止まらず連続ポイントでスタートした。中道北のレフト楠間麻里子のアタックにより同点に追いつくも、国母のレフト三科友理の力強いアタックとレフトセミ星野裕子の速攻アタックとねばり強いレシーブで 18 - 12 と差がついた。中道北は 1 回タイムを要求し、ライト高森美樹のアタックで攻めたが流れは変わらず、21 - 15 と国母が甲府ブロックの代表チームに決定した。(記載者 秋田美紀)